

令和 7 年度 国語科 現代の国語

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	1 年次
教科書	高等学校 精選現代の国語 (第一学習社)	副教材等	新訂国語図説六訂版(京都書房) 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級(桐原書店) 読み解くための現代文単語(文英堂)

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ①「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 一つの事物に対し、国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、多方向から見つめることで、生徒たちの探究心を育てていく。
【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・漢字小テスト ・定期考査 ・作文 ・授業ノート	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7	文章の構成 書き方の基礎レッスン 『本当の自分幻想』 話し方の工夫 待遇表現 『無彩の色』 論理的な表現	【知・技】文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解する。 【思・判・表】自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を理解する。 【主】文章作成の基礎技法を粘り強く習得しようとしている。 【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思・判・表】内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を理解する。 【主】積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 【知・技】敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 【思・判・表】敬語表現が選択される視点を理解する。 【主】積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 【知・技】主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思・判・表】各段落であげられている事例と筆者の考えとの関係を確かめ、要旨を理解する。 文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を理解する。 【主】積極的に主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・漢字小テスト ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
9	論理分析【対比】 『「間」の感覚』 論理分析【具体と抽象】 『日本語は世界をこのように捉える』	【知・技】語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思・判・表】対比による表現の効果を捉え、これを用いて論述する方法を理解する。 【主】対比の有用性について理解し、積極的に活用しようとしている。 【知・技】具体と抽象それぞれの特徴を理解する。 【思・判・表】文章の内容を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を理解する。 【主】論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・期末考査 ・漢字小テスト ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
10	論理分析【事実と意見】 『「私作り」とプライバシー』 意見文を書く 論理分析【推論】 『AIは哲学できるか』	【知・技】主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 【思・判・表】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【主】事実と意見を区別して粘り強く評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 【知・技】主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 【思・判・表】文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 【主】論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	
11 12	「日本の労働問題に関する資料を読み比べる」 情報の探索・選択 情報源の明示	【知・技】情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 【思・判・表】図表等を読み、比較検討した上で、自身の考察に基づいて調査したことをまとめる。 【主】複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。	
1 2 3	『フェアな競争』 スピーチで自分を伝える 『ロビンソン的人間と自然』 合意形成のための話し合いをする	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思・判・表】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈し、自身の考えを的確に伝える。 【主】書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを適切な表現方法で伝えようとしている。 【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 【思・判・表】文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈し、自身の考えを的確に伝える。 【主】書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを適切な表現方法で伝えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・学年末考査 ・漢字小テスト ・作文 ・授業ノート(プリント)

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけではなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでもらいたい。自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、同様にクラスメートがどのように考えているのかということにも耳を傾け、物事のとらえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作りだす」ものだととらえ、積極的に参加してください。

令和7年度 国語科 言語文化

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	1 年次
教科書	高等学校 精選言語文化 (第一学習社)	副教材等	新訂国語図説六訂版(京都書房) 改訂三版完全マスター古典文法(第一学習社) 精選言語文化学習課題集(第一学習社) みるみる覚える古文単語300+30 (いいずな書店)

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【イチカシ学カスタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ①言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・定期考査 ・小テスト ・授業ノート(プリント)	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート(プリント)	【評価の方法】 ・授業振り返りシート ・グループワーク ・プレゼンテーション ・定期考査 ・作文 ・授業ノート(プリント)

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から、規準に従い総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	古文の学習 古文を読むために1	【知・技】主として歴史的仮名遣いや古今異義語、品詞、活用形について、文語のきまりを理解する。	・振り返りシート ・グループワーク
5	古文を読むために2 『絵仏師良秀』	【思・判・表】我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 【主】これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
	漢文の学習 漢文を読むために1 『漁夫之利』	【知・技】漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 【思・判・表】我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 【主】これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート(プリント) ・小テスト ・定期考査
6	『羅生門』 (芥川龍之介)	【知・技】語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思・判・表】下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 【主】登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
7			
9	古文を読むために3 『伊勢物語』 「芥川」	【知・技】古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 【思・判・表】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【主】初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
10	古文を読むために4・5 『土佐日記』 「門出」 (紀貫之)	【知・技】主として助動詞と助詞のはたらきについて、文語のきまりを理解する。 【思・判・表】わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 【主】文中に表された紀貫之の見方や考え方を踏まえて、内容を捉えようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
11	古文を読むために6 『枕草子』 「春はあけぼの」 「中納言参りたまひて」 (清少納言)	【知・技】敬語の文法事項と語句の量を増やし、敬語のきまりを習得する。 【思・判・表】自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 【主】作品に著された情景を想像し、言語化しようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
12			
1	漢文を読むために2・3 『狐偕虎威』	【知・技】故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思・判・表】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【主】故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
2	漢詩のきまり 唐詩の世界	【知・技】漢詩のきまりを理解する。 【思・判・表】表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【主】漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。	・振り返りシート ・グループワーク ・期末考査 ・作文 ・授業ノート(プリント) ・定期考査
3			

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけでなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでもらいたい。自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、同様にクラスメートがどのように考えているのかということにも耳を傾け、物事のとらえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作ridas」ものだととらえ、積極的に参加してください。

令和7年度 地理歴史科 地理総合

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	1 年次
教科書	高校生の地理総合(帝国書院)	副教材等	高校生の地理総合ノート

2 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につける。	【観点の到達目標】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・基礎的・基本的事項の確実な習得 ・資料の収集・読み取り・まとめを確実に行える力	【イチカシ学カスタンダード】 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察する力 ・考察・構想したことを、効果的に説明・議論する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・自らの学び方も学ぶ
【評価の方法】 ・期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート等	【評価の方法】 ・期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート等	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・グーグルスライド等での毎時間の取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 5月	地図や地理情報システムと現代世界	【知・技】 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 【思・判・表】 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

6月 7月	国際理解と国際協力～生活文化の多様性の基礎～	【知・技】世界の特色ある自然環境や気候帯等を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思・判・表】世界の特色ある自然環境や気候帯等を基に、その環境や文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、生活文化の多様性と国際理解について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
9月 10月 11月	国際理解と国際協力～生活文化の多様性と国際理解～	【知・技】世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思・判・表】世界の人の生活文化について、その環境や文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、生活文化の多様性と国際理解について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
11月 12月	地球的課題と国際協力	【知・技】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思・判・表】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、地球的課題と国際協力について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
1月 2月	持続可能な地域づくりと私たち～自然環境と防災～	【知・技】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思・判・表】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、自然環境と防災の視点から持続可能な地域づくりについて主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
2月 3月	持続可能な地域づくりと私たち～生活圏の調査と地域の展望～	【知・技】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。 【思・判・表】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主】目的に応じた地図や地理情報システム（GIS）利活用しながら、生活圏の調査と地域の展望について主体的に追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「地理総合」では1学期に地図やGISなど、身の回りの地理的な事象の「見方」や地理的スキルを学びます。2学期では、1学期に学んだ地理的な見方や地理的スキルを活用し世界の大きな気候や生活文化や地政的状况を学びます。3学期は、1学期に学んだ見方やスキルを活用し、2学期で学んだ世界の大きな状況を背景に、実際に地域の状況を考え、調査し、地域づくりのための学習を行います。

これらの地理的な学習、そして探究は、人間にしかできないことであり、これからの君たちが社会に出て活躍する時にきつと有用であろうと考えます。1年間楽しく学習しましょう。

令和7年度 数学科 数学 I

1 科目について

単位数	3単位	学科・学年	普通科・1年次
教科書	新編 数学 I (数研出版)	副教材等	3TRIAL 数学 I (数研出版)

2 科目の目標

数と式, 2次関数, 図形と軽量, 集合と論証について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 数と式, 図形と計量, 2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 社会の事象などから設定した問題について, データの散らばりや変量間の関係などに着目し, 適切な手法を選択して分析を行い, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	【観点の到達目標】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・数学 I における基本的な概念や原理, 法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理, 法則にしたがって基本的な計算ができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。 ・期限を守って提出物を提出することができる。
【評価の方法】 定期考査	【評価の方法】 定期考査	【評価の方法】 授業における提出物 試験における演習課題 授業内小テスト 授業に取り組む姿勢

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ・ 5	第1章 数と式 第1節 式と計算 中間試験	式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。 【知・技】単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解し、四則演算することができる。乗法公式を用いて、式の展開やいんすうぶんかいをすることができる。 【思・判・表】式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 【主】式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
5 ・ 6	第2節 実数	中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 【知・技】分数を循環小数で表すことができる。有理数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解している。根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 【思・判・表】四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【主】今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
6 ・ 7	第3節 一次不等式	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。 【知・技】不等号の意味や性質を理解し、数量の大小関係を式で表すことができ、1次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思・判・表】身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 【主】不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。日常的な事象に1次不等式が活用できることに興味をもち、考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
7	第2章 集合と命題 期末試験	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 【知・技】命題の真偽を決定し、反例の意味を理解することができる。命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し、それらの真偽を調べることができる。 【思・判・表】命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 【主】条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、グラフをかくなどして多面的に考察する。 【知・技】$y = ax^2$, $y = ax^2 + q$, $y = a(x - p)^2$, $y = a(x - p)^2 + q$ の表について、グラフの平行移動とともに理解している。平方完成をすることができ、2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思・判・表】放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主】一般の2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ について、頂点、軸の式を考察し、グラフを書こうとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
10	第1節 2次関数の値の変化	2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 【知・技】2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し、求めることができる。2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 【思・判・表】2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。	定期考査 提出物

	中間試験	【主】2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	
10 ・ 11	第3節 2次方程式と 2次不等式	2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 【知・技】2次方程式や2次不等式を解くことができる。2次の連立不等式を解くことができる。 【思・判・表】2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、 $D = b^2 - 4ac$ の符号から考察することができる。 【主】2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その2次不等式の解法に活かそうとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
11 ・ 12	第4章 図形と量 第1節 三角比	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。 【知・技】直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。三角定規に使われている角に対する三角比を求めることができる。 【思・判・表】三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値から θ を求めることができる。また、1つの三角比の値からの残りの値を求めることができる。 【主】これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
1 ・ 2	第2節 三角形への応用	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力を培う。 【知・技】正弦定理や余弦定理・三角形の面積の求める公式を用いて必要なものを求めることができる。 【思・判・表】三角比や正弦定理・余弦定理を測量に応用できる。 【主】正弦定理や余弦定理・三角形の面積の求める公式を用いて必要なものを求めようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	定期考査 提出物
2 ・ 3	第5章 データの分析	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。 【知・技】平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。また、データの散らばりを比較することができる。 【思・判・表】ヒストグラムと箱ひげ図の関係について理解し、考察できる。 【主】データを整理して全体の傾向を考察しようとする。データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。主体的に演習問題に取り組み、提出物を期限を守って提出できる。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業中はその内容を理解することに集中してください。もしもわからないことが出てきた場合には、そのままにせず、すぐに自分で教科書を読んだり、人に聞いたりすることで解決してください。1つわからないことがあると、それが原因で多くの内容がわからなくなってしまう。
- ・授業だけでは問題を解く時間を十分にとれないことがあります。そのため、家庭での予習と復習によって問題を解く時間を十分にとってください。
- ・来年度、数学Ⅱや数学Bを履修したい人は数学科の先生に必ず相談に来ること。

令和7年度 数学科 数学 A

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科・1年次
教科書	新編 数学 A (数研出版)	副教材等	3TRIAL 数学 A (数研出版)

2 科目の目標

図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・数学 A における基本的な概念や原理、法則を理解する。 ・確率や整数の性質で基本的な計算を用いて、解を求めることができる。 ・図形の性質を用いて、長さや角度など求められる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・確率や場合の数、図形の性質においてどの法則や性質が用いられているのか、考察する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・積極的に授業に臨む姿勢 ・間違った問題などなぜ間違ったのか考える姿勢
【評価の方法】 ・定期考査	【評価の方法】 ・定期考査	【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト ・授業中の取り組み姿勢など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7 9 10	第1章 場合の数と確率	【知・技】 - 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。 - 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。 - 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 - 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること - 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思・判・表】 - 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。 - 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 - 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。 【主】 - 事象を場合の数と確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
10 11 12	第2章 図形の性質	【知・技】 - 三角形に関する基本的な性質について理解すること。 - 円に関する基本的な性質について理解すること。 - 空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思・判・表】 - 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 - コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること 【主】 - 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる
1 2 3	第3章 数学と人間の活動	【知・技】 - 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。 - 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。 【思・判・表】 - 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 - パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること 【主】 - 事象を数学と人間の活動の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 - 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	3の【評価の方法】に準ずる

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・学習内容全般において数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図りますが、その内容が数学Ⅱや数学Ⅲなどに継続していく大切な教科です。
- ・数学的な見方や考え方のよさについては、日常生活の中でも実感することができます。問題解決等に当たって、問題を数学の対象としてとらえ具体的な手順などを考えることや、数学的な計算や処理ができることが数学の理解を深めることになります。
- ・数学という教科は単に計算が得意であれば良いというものではなく、物事を筋道立てて考えるということがとても大切です。その考え方が他の教科や社会一般の中で役立つこともたくさんありますので日々の学習を大切にしてください。
- ・授業開始時には、教科書・ノート・問題集を準備し着席完了しておいてください。
- ・欠席した場合は、その分のノートを級友から借りるなどして次の時間までに学習しておいてください。
- ・授業で学習した内容について副教材(問題集)を積極的に利用し、演習を重ねておくことが大切です。
- ・提出物等の期限は厳守をお願いします。内容もしっかり行ってください。

令和7年度 理科 化学基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科 1 年次
教科書	化学基礎 (実教出版)	副教材等	化学基礎エブリイノート・アクセスノート化学基礎化学基礎(実教出版)

2 科目の目標

日常生活や社会との連携を図りながら,物質とその変化への関心を高め,目的意識をもって観察・実験などを行い,化学的に探求する能力と態度を育むとともに,化学の基本的な概念や原理・法則を理解し,化学的な見方や考え方を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・自然の事物・現象について,基本的な概念や原理・法則を理解し,知識を身に付けている。 ・観察,実験を行い,基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録,整理し,自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・自然の事物・現象の中に問題を見出し,探究する過程を通して,事物を科学的に考察し,導き出した考えを的確に表現している。	【観点の到達目標】 ・自然の事物・現象に関心をもち,意欲的にそれらを探究しようとするとともに,科学的態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・元素記号 ・化学式 ・計算 ・実験のスキル	【イチカシ学カスタンダード】 ・ディスカッション ・グループワーク ・実験の考察	【イチカシ学カスタンダード】 ・調べ学習 ・発展問題への取り組み ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・定期考査

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能,思考力・判断力・表現力,主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い,総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	物質と化学	【知・技能】科学的に探究する方法を理解するとともに、身近な物質の探究に必要な基本操作を身に付けている。 【思・判・表】身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。 【主】身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
5	物質の探究・物質の構成粒子	【知・技能】物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。	
6		【思・判・表】物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。	
7		【主】物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	
	イオン結合	【知・技能】イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思・判・表】イオンやイオン結合の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主】イオンやイオン結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	
9	共有結合と分子間力・金属結合・化学結合と物質	【知・技能】共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。また、分子からなる物質の性質を理解している。金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、金属の性質を理解している。 【思・判・表】分子からなる物質の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。金属の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主】共有結合や分子からなる物質などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。金属に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
10	物質と化学反応式	【知・技能】物質と化学反応式について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。	
11		【思・判・表】物質と化学反応式についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見だして表現できる。	
12		【主】物質と化学反応式に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	
1	酸と塩基	【知・技能】酸・塩基と中和について理解するとともに、器具の扱い方や溶液の調製方法など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。 【思・判・表】酸・塩基と中和についての観察、実験を行い、中和反応に関与する物質の量的関係を科学的に探究する力を身に付けている。 【主】酸・塩基と中和に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・実験報告書 ・小テスト
2	酸化還元反応	【知・技能】酸化と還元について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。	
3		【思・判・表】酸化と還元についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主】酸化と還元に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・身近な物質や現象について普段から関心を持ち、授業で学習する事柄と結びつけて考える習慣を身につけること。
- ・ノートは、板書をそのまま写すだけでなく、自分なりに工夫し学習の助けにする。
- ・実験には意欲・関心を持って取り組み、実験結果や、そこから考察を自分自身で考えて、実験の意味を把握するようにつとめる。
- ・課題プリントや問題集を積極的に解いて、反復して学習内容の定着をはかる。
- ・実験では、事前の注意事項をよく聞き指示に従い事故のないように十分注意すること。
- ・実験は、班で協力して準備・実験・記録・データ処理・片付けを行えること。
- ・欠席した場合はノートやプリントを周囲の人から借りて自筆で写し、準備をすること。

令和7年度 理科 生物基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科・1 年次 スポーツ科学科・2年次
教科書	高等学校生物基礎(第一学習社)	副教材等	標準セミナー生物基礎 (第一学習社)

2 科目の目標

生物や生物現象に関わり,理科の見方・考え方を働かせ,見通しをもって観察,実験を行うことなどを通して,生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 日常生活や社会との関連を図りながら,生物や生物現象について理解するとともに,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象の中に問題を見だし,見通しをもって観察,実験などを行い,科学的に探究する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象に主体的に関わり,科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 生物の多様性について理解する。 生命活動とエネルギーの関係を理解する。 遺伝子、DNA、染色体、タンパク質の関係を理解する。 恒常性と体液、生体防御について理解する。 植生、バイオーム、生態系の構成について理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 身近な材料で顕微鏡観察、DNA 抽出を行い、生物の共通性を確認する。 カタラーゼを用いて、触媒作用を確認する。 タマネギ根端やだ腺染色体を観察し、細胞分裂や細胞周期、転写や翻訳について確認する。 映像教材を用いて、恒常性、生体防御、生態系について確認する。	【イチカシ学カスタンダード】 生物基礎の各分野において、授業に集中して取り組み、テーマごとの課題解決を目指す。 観察、実験、レポート、ノート作成を通して、知識を整理する。 疑問に思ったことは質問するなど、演習を反復することで理解を深める。
【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度	【【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察1 ささまざまな生物を観察して共通する特徴を探そう 実験1 DNAの抽出 ②生物の共通性の由来 資料1 脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考えよう	【知】地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 【知・思・主】藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを見だし、生物が共通にもつ特徴を理解する。 【知】身近な材料を用いて、DNAを抽出し、DNAをもつことが生物に共通してみられる特徴であることを確認する。 【知・思・主】脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 【知・思】共通の祖先が長い年月の間に変化して、生物が多様化したことを理解する。 【知】原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解する。 【知】現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
5	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー 資料2 光の有無が植物の生育に与える影響について考えよう ②代謝とATP 資料3 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 酵素カタラーゼの働き	【知・思・主】光エネルギーがなければ植物は生育し続けることができないことを示した資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 【知】代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 【知・思】代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 【知】光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 【知】呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつくられる過程であることを理解する。 【知】酵素の基本的な特徴について理解する。 【知・思】肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
6	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA 資料4 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考えよう 演習1 DNAの分子モデルを作製してみよう ②DNAの複製と分配 資料5 DNAの複製のしくみを考えよう 演習2 DNAの半保存的複製を再現してみよう 観察2 細胞周期の各時期にかかる時間の推定	【知】遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 【知・思・主】DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 【思・主】DNA分子の特徴をもとにDNAの分子モデルを作製することができる。 【知・思・主】DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 【思・主】DNAの半保存的複製を、分子モデルを用いて再現できる。 【知】多細胞生物では、一部の細胞が分裂して増殖していること、分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。 【知】間期の間にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。 【知】細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 【知・思・主】タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
7	2. 遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 資料6 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう ②転写と翻訳 演習3 mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取ってみよう ③遺伝子とゲノム 観察3 だ腺染色体の観察	【知】生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 【知】タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。 【知・思・主】DNAの塩基配列と、その配列で決定されるアミノ酸配列を示した資料から、この2つの配列の関係について考察し、3つの塩基の並び(コドン)が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。 【知】DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ(転写)、これがアミノ酸配列に置き換えられる(翻訳)という流れを理解する。 【思・主】遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 【知】遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 【知】全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。 【知・主】だ腺染色体のパフを観察し、パフでmRNAが盛んに合成されていることを確認する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

9	第3章 ヒトのからだの調節 1. 情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 実験3 踏み台昇降運動を行って、心拍数の変化を測定しよう ②恒常性と内分泌系	【知】恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 【知・思・主】運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を理解する。 【知】脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。 【知】自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。 【知】心臓の拍動数が意思とは無関係に調節されていることを理解する。 【知】内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。 【知】ホルモン分泌のフィードバック調節について、チロキシンの分泌調節を例に理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
10	③体内環境を調節するしくみ 資料7 血糖濃度とホルモン濃度の関係を考察しよう 資料8 血糖濃度の調節と自律神経系の関わりについて考えよう ④血液凝固	【知・思・主】健康なヒトとインスリンを正常に分泌できないヒトについて、食事の前後の血糖濃度とインスリン濃度の経時的変化を示す資料から、インスリンの働きを考察し、理解する。 【知・思・主】血糖濃度調節の流れを示した資料から、血糖濃度と自律神経系の関わりについて気づき、血糖濃度調節のしくみについて理解する。 【知】糖尿病の原因と症状について理解する。また、糖尿病で尿中にグルコースが排出される原因を理解する。 【知】体温調節のしくみについて理解する。 【知】血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
11	2. 免疫 ①生体防御 資料9 白血球の働きについて考えよう 観察4 食作用の観察 ②自然免疫 ③獲得免疫 資料10 同じ感染症にかかりにくい理由を抗体産生量の変化から考えよう 演習4 免疫の流れを説明してみよう ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	【知】皮膚や粘膜による生体防御について理解する。 【知・思・主】好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料や、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。 【知・主】カイコガを用いて血球の食作用を観察する。 【知】免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。 【知】自然免疫のしくみを理解する。 【知】抗体の特徴について理解する。 【知】リンパ球による抗原認識、免疫寛容のしくみを理解する。 【知】獲得免疫は自然免疫によって誘導されることを理解する。 【知】獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 【知・思・主】一次応答と二次応答における抗体産生量の変化を示した資料をもとに、同じ感染症にかかりにくい理由を考察する。 【知】二次応答や拒絶反応が起こるしくみを理解する。 【知・思・主】免疫反応について、免疫細胞のコマを用いて、流れを整理しながら説明できる。 【知】自然免疫と獲得免疫の特徴を理解し、お互いに活性化し合って病原体を排除することを理解する。 【知】アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 【知】免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法のしくみを理解する。また、近年では抗体医薬が用いられていることを理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
12	第4章 植生と遷移 1. 植生と遷移 ①植生と環境の関わり 観察5 植生と光・土壌の関係を調べよう 観察6 陽葉と陰葉の断面の観察 ②遷移のしくみ 資料11 伊豆大島の調査結果から遷移の要因を考察しよう	【知】植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。 【思・主】植生ごとに環境を比較する観察から、植生が異なると光や土壌環境も異なり、植生と環境は密接な関係にあることに気づく。 【知】森林の土壌の特徴を理解する。 【知】森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。 【知】光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。 【知】陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。 【知・思・主】陽葉と陰葉の断面を観察・比較し、構造の違いと光環境との関係を考察する。 【知】植生は不変ではなく、遷移していることを理解する。 【知・思・主】伊豆大島で行われた、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進む要因を考察する。 【知】乾性遷移のモデルについて、土壌の形成や光環境の変化などの環境形成作用に注目して理解する。 【知】極相林にはさまざまな大きさのギャップが存在し、その大きさによってギャップを埋める樹種が変わることがあることを理解する。 【知】湿性遷移、二次遷移について理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

1	2. バイオーム ①遷移とバイオーム 資料 12 バイオームの分布を決める要因について考えよう (1) 資料 13 バイオームの分布を決める要因について考えよう (2)	【知】バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。 【知・思・主】現存するバイオームと、その地域における気温や降水量の分布を対応させた資料から、環境条件によって、遷移の結果として森林や草原、荒原など多様なバイオームがみられることを理解する。 【知】地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。 【知】日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
2	第 5 章 生態系とその保全 1. 生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち 観察7 土壌生態系を構成する生物とその環境について調べよう 観察8 環境の違いと種の多様性に関連があるか調べよう ②生態系における生物どうしの関わり 資料 14 上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考えよう	【知】生態系の構成について理解する。 【知・思・主】土壌生態系を構成する生物の観察から、身近な環境でみられる生物の種の多様性に気づく。また、異なる環境でみられる土壌生態系の観察から、生態系の種の多様性や個体数は環境と密接に関係していることを理解する。 【知】地球上には、陸上以外にもさまざまな生態系がみられることを理解する。 【知】生物は、食物連鎖（食物網）によってつながっていることを理解する。 【知・思・主】上位の栄養段階の生物を排除したときの、下位の生物の種数や生息密度の変化を示した資料から、捕食－被食の関係が種の多様性に与える影響について考察する。 【知】キーストーン種によって生態系のバランスが保たれている場合があることを理解する。 【知】食物連鎖を通じて間接的に他の生物に影響を与えることがあることを理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業や実験は物理実験室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。
- ・プリントを管理するためのファイルと演習用のノートを用意すること。
- ・教科書、資料集、問題集、問題集の解答解説、プリント用ファイル、演習用ノート、タブレットを毎回持ってくること。
- ・課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかること。
- ・実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。
- ・理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組むこと。

令和 7 年度 保健体育 保健

1 科目について

単位数	Ⅰ 単位	学科・学年	Ⅰ 年次
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。	【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。	【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとするなどにより主体的に取り組むことができる。
【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知も含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。	【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保することができる。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	1, 私たちの健康の姿 2, 健康のとらえ方	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
5	3, 意思決定と行動選択 4, 健康に関する環境作り	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
6	5, 生活習慣病とその予防 6, 食事と健康	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
7	7, 運動と健康		
9	8, 休養・睡眠と健康 9, 喫煙と健康	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
10	10, 飲酒と健康 11, 薬物乱用と健康	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
11	12, 現代の感染症 13, 感染症の予防	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・期末考査
12	14, 性感染症・エイズとその予防		
1	15, 欲求と適応機制 16, 心身の相関とストレス 17, ストレスへの対処	【知・技】 ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに, 技能を身に付けることができる。	・プリント ・ワーク
2	18, こころの健康と自己実現 19, 交通事故の現状と要因	【思・判・表】 ・課題を発見し, 健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに, それらを表現することができる。	・レポート
3	20, 交通社会における運転者の責任と資質 21, 安全な交通社会づくり	【主】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。	・学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留めたりする」だけでなく, 積極的に 自分自身の生活を振り返り, 健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには, 学習した内容をもとに, 自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおけないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

授業チャイムと同時に始めますので, 休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき, チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は, 友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 保健体育 体育

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	1 年次
教科書	アクティブスポーツ(大修館書店)	副教材等	

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。	【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。	【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとしたりするなど主体的に取り組むことができる。
【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知も含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりすることができる。	【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保することができる。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から基準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	ガイダンス 体育理論 体づくり運動	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
5	武道・ダンス 球技 (バレーボール・ハンドボール)	【知・技】 ・運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
6	器械運動 陸上競技 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
7 9	水泳 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
10 11	球技 (バレーボール・ソフトボール・ハンドボール・卓球) 武道・ダンス	【知・技】 ・運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
12 1 2	陸上競技(長距離走) 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
3	球技(サッカー・ハンドボール) 武道・ダンス	【知・技】 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 1年次
教科書	高校生の音楽Ⅰ 教育芸術社	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解している。(知) ・音楽を形作っている要素及び音楽用語や記号を理解している。(知) ・それぞれの言葉、楽器、音素材の特徴を理解し、それらを表現するための発音、奏法、身体の使い方などの技法を身に付けている。(技)	・音楽を形づくっている要素などを知覚し、それらの働きを感じながら関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えている。 ・曲や演奏について根拠をもって批評している。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組んでいる。 ・他者の音楽表現を捉え、調和を意識している。
【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】
・音楽用語 ・音楽記号 ・歌唱の技能 ・演奏の技能 ・読譜及び記譜の技能 など	・プレゼンテーション ・ディスカッション ・グループワーク など	・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽性理解 など
【評価材料等】	【評価材料等】	【評価材料等】
・各種技能テスト ・聴音テスト ・学習プリント	・各種技能テスト ・学習プリント ・プレゼン資料	・授業内での姿勢、発言 ・学習課題 ・プリント提出

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4 5 6 7	ガイダンス 音楽って何だろう (頭の準備運動)	音楽史	教材 「音楽って何だろう」 ・ 音楽を考える ・ 音楽の起源を探る ・ 音楽の目的と価値を考える	・ 学習プリント
	校歌を学ぶ 世界を変えていく力	歌唱表現	教材 「校歌」 ・ 校歌の歌詞を理解する 教材「We are the World」 ・ 曲の文化的・歴史的背景を探る	・ 学習プリント ・ 歌唱実技テスト
	音楽の役割	器楽演奏(ハンドベル)	教材「愛の讃歌」 ・ 音楽の役割を知る ・ ハンドベルの奏法、演奏	・ 学習プリント ・ 器楽実技テスト
	イメージをもって 音楽をつくる	創作 (効果音)	教材「詩をもとにして音楽 をつくろう」 ・ 音の要素と音楽の要素を知る ・ 音楽と感情の関わりを知る ・ イメージから音楽を構想する ・ 音が与える印象を考える ・ 意図をもって表現する	・ 学習プリント ・ 発表 (テスト扱い)
	音名と読譜	楽典	教材 学習プリント ・ 読譜スキルの習得	・ 読譜テスト
	音楽と社会問題	鑑賞	教材 「ウェストサイドストーリー」	
9 10 11 12	イタリア語歌曲	歌唱	教材「カロミオベン」 ・ イタリア歌曲の特徴を捉える	・ 歌唱実技テスト
	世界の歌	器楽演奏(ハンドベル)	教材「オーシャンゼリゼ」 ・ 正確なリズムを身に付ける	・ 器楽実技テスト
	音楽の効果	鑑賞・創作	教材 学習プリント ・ 音楽を形作っている要素を 理解し、働きを考える ・ 表現の意図を捉え、 情景にあった楽曲を 見つけ出す。 ・ 根拠をもって説明する	・ 学習プリント ・ プレゼンテーション

	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
	音楽の力	鑑賞	教材「交響曲第9番」 ・曲の構成を理解する ・作曲者の思いを感じ取る ・現代における価値を知る	・学習プリント
	5線記譜法	楽典	教材 学習プリント ・5線記譜法の習得 ・聴音の習得	・3学期テストにて
1 2 3	日本の歌	歌唱表現	教材「荒城の月」 ・日本語の美しい発音や歌い方を知る ・日本語の表現 ・楽曲にあった歌唱方法 ・情景理解、歴史的背景理解	・歌唱実技テスト ・学習プリント
	リズムアンサンブル	リズム表現 (ボディーパーカッション)	教材「クラッピングカルテット第1番」 ・曲の仕組みを理解する ・特徴に合わせた表現を工夫する ・意図をもって表現する	・発表 (テスト扱い)
	5線記譜法	楽典	聴音課題	・聴音実技テスト
	物語と音楽の関わり	鑑賞	教材「魔法使いの弟子」 ・詩と音楽要素の関わり ・情景理解	・学習プリント

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1年間を通して、音楽の価値を中心について考えていきたいと思います。
得意不得意があると思いますが、実技テストが多い教科なので、とにかく積極的に取り組むことが第一です。また、生活の中の音楽にも関心を向けながら、授業に取り組んでください。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	1 学年 全組
教科書	書道 I (東京書籍)	副教材等	ペン習字の基礎 (教育図書)

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・書の表現の方法、形式、書表現の多様性を理解する。 ・書写能力を向上させ、書の伝統に基づいた効果的な表現のための基礎的な技能を身に付ける。 (よく見て正確に表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・意図に基づいた表現について構想し工夫した作品作りを習得する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 (自分の思いを表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価材料等】 ・ 作品 ・ ワークシート など	【評価材料等】 ・ 作品 ・ ワークシート など	【評価材料等】 ・ ワークシート ・ 取り組みの様子

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	書写から書道へ 漢字仮名交じりの書	・書写の確認、書道の学習 ・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ・調和よく書いてみよう	・書写と書道の違いを理解する。 ・用具・用材の種類や性能を学ぶ。 ・姿勢や執筆法の基本を理解する。 ・漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。	ワークシート ワークシート 作品 観察
5	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。	ワークシート
6		・楷書 ①九成宮醴泉銘 ②孔子廟堂碑 ③雁塔聖教序 ④自書告身 *唐の四大家 ⑤牛橛造像記	・楷書の用筆・運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。	ワークシート 作品 観察
7				
9	漢字の書	・行書 ①蘭亭序 ②争坐位文稿 ③風信帖	・行書の用筆・運筆、字形の取り方について理解し、練習する。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫する。	ワークシート ワークシート 作品 観察
10				
11		・篆書 ①泰山刻石 ・篆刻	・漢字の書体変遷について理解する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品 観察
12		創作	・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む。	作品 観察

1	仮名の書	・ 仮名の書の成立 ・ 平仮名 ・ 変体仮名	・ 仮名の成立と変遷について理解する。 ・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。	ワークシート 作品
2		・ 古筆の鑑賞と臨書 ①蓬萊切 ②高野切第三種 ③関戸本古今和歌集	・ 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・ 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品 観察
3	漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現の工夫	・ 名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・ 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現活動に取り組む。 ・ 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	作品 観察

担当者からのメッセージ (学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解し、書写能力の向上を図りましょう。
- ・ 書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けましょう。
- ・ 書のよさや美しさを感じ「何を表現したいか」を考え表現を工夫した作品を作りましょう。
- ・ 主体的に書の幅広い活動に取り組みましょう。
- ・ 書を愛好する気持ちで書の伝統と文化に親しみましょう。
- ・ 書を通して心豊かな生活や社会を創造していく気持ちを持ち続けてください。
- ・ 作品を丁寧に扱うように、道具の扱いや書道教室の使い方も丁寧にしましょう。片付けや教室内の整理整頓までしっかりと気を配り、美しい作品を作りましょう。

令和7年度 芸術科 美術 I

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	1 年次
教科書	光村図書出版 美術 I	副教材等	

2 科目の目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	【観点の到達目標】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	【観点の到達目標】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・対象や事象を捉える造形的な視点の習得 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す力	【イチカシ学カスタンダード】 ・造形的な見方・考え方を活用し、主題を生成したり、創造的に発想し構想を練ったりする力 ・価値意識をもって、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・主体的に多様な価値観と触れ合う
【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・行動観察

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	オリエンテーション 美術はなぜ学ぶのか	【知・技】 社会における美術の役割を理解している。 【思・判・表】 社会における美術の役割を理解したうえで、授業でどのように取り組んでいくかや、美術を学ぶ意義を考え、自分の言葉で表すことができる。 【主】 美術を学ぶ意義を、他者の意見を聞きながら多角的かつ主体的に考えようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
5	混色演習 絵の具について 立体表現	【知・技】 混色をすることで、色や表現の幅が広がることを理解している。絵の具の特徴や使い方を理解し、様々な表現方法やモダンテクニック等を利用する技術を身につけている。 【思・判・表】 自分の作りたい色や、主題に応じた表現方法はどのようにすればできるかを、考	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート

		察しながら表現している。 【主】混色や絵の具の表現を主体的に広げようとしている。	・行動観察
6	絵画表現	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思・判・表】自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かして表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
7	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
9	立体表現	【知・技】形や色、素材などが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思・判・表】自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
10	立体表現 鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
11	空間デザイン	【知・技】造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。 【思・判・表】目的や条件、美しさなどを考え主題を生成し、デザインの機能や効果について考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自分の生活や環境を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
12	プレゼン会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者のねらいや目的と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者のねらいについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
1	ゲルニカの鑑賞	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
2	絵画鑑賞	【知・技】様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
3	絵画鑑賞	【知・技】様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・指示をよく聞き、マナーを守り、安全な活動を心掛けてください。皆が気持ちよく授業に参加できるようにしましょう。
- ・課題は授業時間内での完成を目指し、締め切りに間に合うようにしましょう。作業が遅れている者は補講も実施しますが、怠惰が理由の場合の補講の参加は認めません。欠席が多くなってしまった場合は自分から相談をすること。
- ・提出物(ワークシート、作品等)は、締め切りを守り、確実に提出してください。未完成のものや期限を守らないものは大幅に減点します。
- ・美術は答えがたくさんある教科です。自分の答えを持つことはもちろん大切ですが、他者の答えも大切にしてください。様々な価値観を認められる心を育みましょう。

令和7年度 芸術 工芸 I シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 1年次
教科書	工芸 I 日本文教出版	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。
【イチカシ学カスタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学カスタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	染色（手拭い）	手描き染めによる手拭い ・細密描写	・モチーフを選び細密描写する。	・描写は丁寧にされているか、角度を変えて沢山描けたか。
5		パターンをつくる ・連続模様にする ・大きさや色を変え、デザインする	自分のモチーフによって、パターン化したり、連続模様にした り、大きさや色を変えてデザインする。	・デザイン化、パターン化は適切に行われたか。 全体のバランスは考えられたか。
6		・転写 ・線描	・パネルに晒しぬのをマスキングテープで貼る。 ・デザイン画をケント紙に簡略化して写し、晒し布の間に 入れ、布ペン（極細）で描いていく。	・何故簡略化するか、また、細部をどのように描いてゆくか理解できたか。
7		・彩色	・全て線描したら、布ペンで彩色していく。 ・混色、ぼかしなども、適切に指導しながら、難易度をあげ、友禅染をイメージさせながら染めていく。	彩色はきれいにできたか。 ・配色は適切に考えられたか。 ・ぼかし、混色はきれいにできたか。
9	金工	・真鍮によるペーパーウェイト	・参考作品を提示し、ペーパーウェイトの用途を考え、デザインする。	・金属の性質を理解し作る事を考えてデザインしているか。
10			・糸鋸でデザインに沿って切っていく。 ・やすりで形を整える。	糸ノコの使い方を習得したか。 ・棒やすりの使い方はできているか。やすりの形を理解し適切に使えたか。
11			・耐水ペーパーで＃400～＃2000、まで番手を上げ、磨き上げていく。	・目の粗さ、細かさなど理解し適切に使えたか

12			・ビカールを布につけ磨く。	ビカールを布につけて適切にみがけたか。
1	革	革のパスケース	デザインを決める。 ・刻印を打つ。 ・革と紐を染める	デザインは適切か。 ・刻印の打ち方 ・革の染め方
2			・ポンチで穴あけ。 ・革紐で編んでゆく	・穴の開け方。 ・縫い方、糸の始末。
3	鑑賞		・仕上がったお互いの作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞する。	

担当者からのメッセージ(学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

工芸Ⅰの授業では様々な素材に出会い、新しい道具の使い方を学び、皆さんの生活を豊かにする作品をつくります。
是非、積極的に授業に参加して下さい。

令和7年度 外国語科 英語コミュニケーションⅠ

Ⅰ 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	Ⅰ 年次
教科書	Landmark Fit Ⅰ English Communication Ⅰ (啓林館)	副教材等	Landmark Fit Ⅰ Workbook (啓林館) Pocket Speaking (啓林館) AB 組: Evergreen English Grammar 30 Lessons (いっずな書店) C~H 組: プレップ・イングリッシュ (旺文社) チャンクで英会話 (三省堂)

2 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り〕・話すこと〔発表〕・書くことの5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いたり、書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能、論理性に注意して話して伝える技能、書いて伝える技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えていたり、書き手の意図や概要、要点を捉えている。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、論理性に注意して書いて伝える。	【観点の到達目標】 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしていたり、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしていたり、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新しい語彙や文法を身につけ、教科書本文の基本的な英文の音読や読解ができるようになる。 ・本文についての英文を聞いて理解できるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・既習単語や表現を使い、情報や気持ちを伝えることができる。 ・エッセイで30語程度の英文が書けるようになる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・言語学習を通して、異文化を理解できるようになる。 ・ペアワークやグループワークを通して、主体的に学ぶ姿勢を身につける。
【評価の方法】 ・定期考査 ・単語テスト ・音読テスト ・ワークシート提出	【評価の方法】 ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・エッセイライティング ・ペアワークへの取り組み	【評価の方法】 ・ファイル提出 ・ワーク提出 ・自己評価・リフレクション ・ペアワークへの取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	【知・技】これからの高校生活で関心があることについての話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】高校生活における目標設定について書かれている文章を読み, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】高校生活で関心がある学校行事について, 自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
5	Lesson 2 Curry Travels around the World	【知・技】好きなカレーについての会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】カレーの歴史と現在の様子についての文章を読み, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】食べたことがあるカレー料理について, 自分の経験や好みについて, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み 定期考査
	SDGs01	What is SDGs?	エッセイライティング
6	Lesson 3 School Uniforms	【知・技】学校の制服についての会話を聞いてのスピーチを聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】学校の制服についての文章を読んで, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】自分が通っている学校の制服について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
7	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima	【知・技】日本の世界遺産についてのスピーチを聞いて必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】屋久島のエコツアーについての文章を読んで, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】自分が訪れてみたい世界遺産について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み 定期考査
	SDGs02	SDGs Goals to Achieve	エッセイライティング
9	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	【知・技】ファシリティドッグ導入に賛成か反対かについての会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】ファシリティドッグについての文章を読んで, 必要な情報を聞き取り, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】飼っているペットや好きな動物について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み
10	Lesson 6 Communication without	【知・技】ジェスチャーが持つ意味について話されている会話を聞いて, 必要な情報を聞き取り, 概要や要点を捉える。 【思・判・表】世界の非言語コミュニケーションについて書かれている文章から必要な情報を, 文章の展開や書き手の意図, 概要, 要点, 詳細を捉える。 【主】自分が話す時によく使用しているジェスチャーとその利点について, 情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り組み 定期考査

	SDGs03	What You Can Do with SDGs	エッセイライティング
11	Lesson 7 Dear World: Bana's War	【知・技】インターネットの活用方法について話している会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】バナの平和への思いとソーシャルメディアを利用した平和活動について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】インターネットの良い点、悪い点についての情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み
12	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	【知・技】将来就きたい職業についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】社会起業家について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】将来自分が就く職業を選ぶ際に重要なことについて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み 定期考査
1	Optional Lesson 1 Space Elevator	【知・技】宇宙エレベーターで宇宙に行けたらしてみたいことについて会話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】宇宙エレベーターについての文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】宇宙について自分の関心がある事柄を情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み
2	Optional Lesson 2 Friendship over Time	【知・技】友情についてのエピソードを聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉える。 【思・判・表】日本とトルコの時を超えた友情についての文章を読んで、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉える。 【主】海外を訪れた経験や訪れてみたい外国について情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み
3	Reading	【知・技】アメリカで出会ったアユコとトニーの物語を読んで、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉える。 【主】物語から読み取ったことを基に、最後のシーンでアユコがどのような思いを抱いていたか、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。	音読テスト ワークシート 自己評価 ペアワークへの取り 組み

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

普段の授業から「聞く」「話す」「読む」「書く」の4分野を総合的に評価していきます。授業への主体的な態度も評価の対象になりますので、失敗を恐れずに積極的に発言をしてください。授業中はもちろんのこと、授業外でも積極的に英語を使ってコミュニケーションをとっていきましょう。また定期単語テストも行います。語彙を増やすとコミュニケーションも取りやすくなります。学年末に成績優秀者に表彰もあります。毎回合格目指して頑張ってください。

ICT活用も充実した授業を行っていきますので、家庭学習の際も積極的に活用させていきましょう。

令和7年度 論理表現 I

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	普通科 1 年次
教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)	副教材等	なし

2 科目の目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 情報や考え、気持ちなどを伝えるための表現の形・意味・用法を理解している。学んだ知識を用いて、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	【観点の到達目標】 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	【観点の到達目標】 情報や考え、気持ちなどを伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。
【イチカシ学力スタンダード】 ・語彙 ・文法 ・リスニングのスキル など	【イチカシ学力スタンダード】 ・ペアトーク ・グループワーク ・プレゼンテーション ・エッセイ など	【イチカシ学力スタンダード】 ・異文化理解 ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・単元テスト ・ワークシート提出	【評価の方法】 ・スピーキングテスト ・ペアトーク・グループワークへの取り組み	【評価の方法】 ・ペアトーク・グループワークへの取り組み ・宿題 ・ファイル提出 ・ワーク提出

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	英語で表現するには Lesson 1 初めての食事	【知・技】 英語で表現するときに、まずはやさしい日本語に言い換えたり、発想自体を変えたりする技能を身につける。 【知・技】 褒める、勧める、断るときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。 【思・判・表】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて相手を褒めたり、物事を	スピーキング

5		勧めたりしている。また、勧誘内容を理解し、提案を断ったりして自分の考えや気持ちなどを表現している。	テスト
6	Lesson 2 道に迷う	【主】適切な表現を用いて、相手を褒めたり、物事を勧めたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	ペアトーク
7	Lesson 3 人物紹介	【知・技】提案する、依頼する、道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。	ワークシート 提出
		【思・判・表】相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて物事を提案したり、依頼したりしている。また、相手にわかりやすく道順を説明するなどして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	等
		【主】適切な表現を用いて相手にわかりやすく道案内するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
		【知・技】身近な人を紹介する、聞き手や読み手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。	
		【思・判・表】相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて1つのテーマに沿って、身近な人を紹介したり、テーマに関連性を持たせたりしている。また、聞き手や読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	
		【主】適切な表現を用いて、身近な人を紹介するために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、聞き手や読み手の注意を引いたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
9	Lesson 4 体調が悪い	【知・技】体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。	スピーキング テスト
10	Lesson 5 買い物	【思・判・表】場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、現在の体調や症状などを伝えている。また、相手の立場や状況を理解し、体調を尋ねたりアドバイスをしたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	ペアトーク
11	Lesson 6 行ってみたい場所	【主】適切な表現を用いて、現在の体調や症状を伝えるために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、体調を尋ねたり、指示・アドバイスをしたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	ワークシート 提出
		【知・技】描写する、相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。	等
		【思・判・表】場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写している。また、文脈に応じて適切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	
		【主】適切な表現を用いて、わかりやすく物事を描写するために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、文脈に応じて適切な相づちを打ったりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
12		【知・技】希望を述べる、理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。	
		【思・判・表】相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、希望を述べている。また、相手が納得できるように理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。	
		【主】適切な表現を用いて、希望を述べるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の言葉で考えや気持ちなどを表現しようとしている。	

1	Lesson 7 イベントに 誘われる	【知・技】誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。 【思・判・表】場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、期待感を伝えたりしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で誘いを断ったりして自分の考えや気持ちなどを表現している。 【主】適切な表現を用いて、計画などの魅力を伝えて誘ったり、期待感を伝えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、誘いを受けたり、相手に配慮した形で誘いを断ったりして、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	スピーキング テスト ペアトーク ワークシート 提出 等
	Lesson 8 スクールカ ウンセラー に相談	【知・技】状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案する、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。 【思・判・表】場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たりしている。また、助言・提案したり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【主】適切な表現を用いて状況を説明したり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	
	Lesson 9 お気に入り を紹介	【知・技】映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、自分の考えや気持ちなどを表現する。 【思・判・表】相手の知識や発言を理解し、適切な表現を用いて、あらすじなどを要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりしている。また、聞き手や読み手にわかりやすく、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【主】適切な表現を用いて、あらすじなどを順序だてて要約して紹介したり、内容に関する感想や批評を述べたりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちを聞き手や読み手にわかりやすく表現しようとしている。	
2			
3			

担当者からのメッセージ（資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

論理表現Ⅰでは、みなさんの文法の知識や活用力を伸ばし、英語で表現できる力をつけることを目標としていきます。書くことや話すことだけでなく、4技能（読む・書く・聞く・話す）の全てを伸ばせるように取り組んでいきます。英語での表現やコミュニケーションをとる際には、自発的に英語を活用していけるように心がけていきましょう。

実技テストや普段の授業でのペアワークや発表などの活動、課題英作文などの評価配分が高くなる科目ですので、毎時間積極的に授業に取り組むようにしてください。

令和 7 年度 情報科 情報 I

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	全学科・1 年次
教科書	情報 I step Forward! (東京書籍)	副教材等	ニューステップアップ情報 I

2 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うことを目標とする

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身につけているとともに, 情報社会と人との関わりについて理解している。	【観点の到達目標】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	【観点の到達目標】 情報社会との関わりについて考えながら, 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し, 自ら評価し改善しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・情報モラル ・法と権利 ・デジタル表現 ・情報デザイン ・ネットワーク ・アルゴリズム ・プログラミング	【イチカシ学カスタンダード】 ・問題解決 ・ネットコミュニケーション ・情報デザイン ・アルゴリズム ・プログラミング	【イチカシ学カスタンダード】 ・情報モラル ・ネットコミュニケーション ・主体的に学ぶ姿勢
【評価の方法】 ・考查結果 ・提出課題	【評価の方法】 ・考查結果 ・提出課題	【評価の方法】 ・考查結果 ・授業における取組 ・課題等の提出状況

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名	【知・技】情報やメディアの特性について知り、理解する。	・提出物
5	1 章 情報社会	【思・判・表】問題を発見・解決するための共通する手順や方法を学習する。問題を解決するために情報技術や様々な発想法を理解する。 【主】Word、PowerPoint を使った実技課題への取り組み	・授業の取組 ・定期考査
6	2 章 情報デザイン	【知・技】メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。	・提出物
7		【思・判・表】情報を分かりやすく伝えるための情報デザインを理解する。 【主】ユニバーサルデザインについて学び、主体的に考える。ピクトグラム作成。	・授業の取組 ・定期考査

9 10	2章 情報デザイン	【知・技】アナログデータとデジタルデータの違いを理解する。 【思・判・表】コンピュータ内部での数値・文字・記号などの表現の仕組みを理解する。デジタルデータのプラス面とマイナス面について、両面から理解する 【主】Excelを使った実技課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
11 12	4章 ネットワークの活用	【知・技】情報通信ネットワークの理解とその利用について考える。 【思・判・表】情報化の進化に伴う暮らしや社会の変化について考える。 【主】Excelを使った実技課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査
1 2 3	3章 プログラミング	【知・技】コンピュータの基本構成と五大装置について理解する。 【思・判・表】基本論理回路について学び、仕組みを理解する。問題解決の手順を考え、表現する。 【主】アルゴリズムやプログラミングに関する課題への取り組み	・提出物 ・授業の取組 ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・「情報」は、これからの情報社会を生き抜いていくために必要不可欠であり、また、自ら学ぶ力を身につけるためにとても大切な教科です。他のいろいろな教科を学習した上で学んだ知識を統合し、発展活用させる方法を身につけましょう。前向きな態度で授業に臨んでください。
- ・教科書の内容を覚えることも大切ですが、知識のみに偏らず実習を通じて問題の発見や解決能力、情報活用能力を高めていき、実社会に役立てられるような実践力を身につけることが大切です。
- ・PC教室での授業が多くなります。移動がありますが、授業はチャイムと同時に開始しますので、教科書等を準備し、着席を完了してください。
- ・授業中は説明をしっかりと聞いてください。特にコンピュータなどの情報機器の操作については、手順通りに行わないと結果として他の人に迷惑をかけてしまう場合があるので十分注意してください。
- ・提出物は確実に提出してください。